

愛知県立芸術大学

一般選抜 学生募集要項

令和
5
年度入学用

美術・音楽共通 一般選抜

出願期間：令和5年1月23日～令和5年2月3日 締切日消印有効

試験日程：美術学部/令和5年3月12日～令和5年3月18日

音楽学部/令和5年3月9日～令和5年3月15日

合格発表：令和5年3月21日(最終合格発表) 午前11時

入学手続：令和5年3月27日

入試情報提供専用サイトについて

以下のウェブサイトにおいて、下記の本学入試情報を掲載します。

入試情報提供専用サイト URL : <https://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

1 志願状況

令和5年1月27日（金）からお知らせします。

2 合格発表

合格発表当日の午前11時に公開します。

※ただし、学内の掲示をもって正式な発表とします。



愛知芸大 合格発表

検索

URL <https://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

学校保健安全法で出席の停止が定められている 感染症に関する注意事項について

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮頂いた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。体調管理については十分に注意してください。

新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、募集要項に記載している選抜方法・日程等を変更する可能性があります。

随時、本学ウェブサイト (<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>) から「入試情報」をご確認ください。

●美術学部のアドミッション・ポリシー

愛知県立芸術大学は、地域から世界への発信を目指し、活発な芸術活動で質の高い研究、教育、社会貢献を展開しています。美術学部では芸術家、デザイナー、研究者など美術全般で専門性の高い人材を育成、供給するため、専攻が独自のアドミッション・ポリシーを制定しています。

◆日本画専攻

求める人物像

- ・観察によって発見したよこびを表現することに、強い意欲をもっている人
- ・自分の可能性を信じ、目標に向かって粘り強く取り組める人
- ・時代やジャンルを問わず、幅広い芸術表現に興味がある人
- ・新たな発想と表現力を身につけ、社会で活かしたいと思っている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・観察力と描写力（デッサン、着彩）

入学試験の基本的な方針・考え方

受験生の能力を適切に評価できるよう、大学入学共通テストによる学力と、石膏デッサンと着彩による二種類の実技試験を行います。

【一般選抜】

- ・一次試験では、石膏デッサンの実技試験の得点と、学科（大学入学共通テスト）の合算により可否を判定します。
- ・二次試験では、着彩による実技試験の得点によって、最終合格判定を行います。
なお、大学入学共通テスト及び一次試験の得点は二次試験には加算されません。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

◆油画専攻

求める人物像

- ・美術・絵画に強い関心と探究心をもっている人
- ・美術・絵画に関する基礎的表現力があり、大学においてさらに表現力を深めようと志す人
- ・芸術家として自己実現を目指す人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力（デッサン）
- ・絵画表現力（油画・水彩画）
- ・豊かな創造力と絵画表現を試みる力

入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が能力を最大限発揮できるよう試験問題、試験時間、制作作品のサイズなどを工夫した入学試験を実施します。

【一般選抜】

- ・一次試験では、素描の実技試験の得点と、学科（大学入学共通テスト）の合算により可否を判定します。
- ・二次試験では、油画または水彩画による実技試験の得点によって、最終合格判定を行います。
なお、大学入学共通テスト及び一次試験の得点は二次試験には加算されません。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

◆彫刻専攻

求める人物像

- ・ 広範な立体表現に深い関心を持ち、芸術家を志す人
- ・ 創造のよろこびを実感し、ねばり強く取り組める人
- ・ 多様な価値観に目を向け、様々な文化芸術に興味を持つ人
- ・ 独自の発想力と表現力を身につけ、社会で活かしていきたい人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・ 基礎的な描写力・造形力
- ・ 豊かな想像力

入学試験の基本的な方針・考え方

ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、基礎的な想像力・技術力を判定する試験を行います。

【一般選抜】

- ・ 大学入学共通テストによる学力試験および素描、塑造の実技試験の合算により可否を判定します。
- ・ 可否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

◆芸術学専攻

求める人物像

- ・ 美術作品の鑑賞や研究、展覧会の企画などに強い関心のある人
- ・ 美術史、現代アート論、美学、文化財学等に関心の高い人
- ・ 柔軟な感性と論理的な思考力を持ち、語学力にも優れている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・ 英語に関する基礎的な語学力
- ・ 基礎的な論述能力
- ・ 美術作品についての基礎的な観察力、鑑賞眼

入学試験の基本的な方針・考え方

受験生の学力や感性、適性や意欲が十分に評価できるような入学試験を実施します。

【一般選抜】

- ・ 大学入学共通テストによる学力試験の結果に加え、英語、小論文、素描の試験を行い、合格判定を行います。
- ・ 可否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

◆デザイン専攻

求める人物像

- ・ 日々の暮らしの様々なことに興味と好奇心がある人
- ・ モノ作りや表現に強い関心があり、工夫が好きな人
- ・ 問題を発見し、解決する思考力と行動力がある人
- ・ 様々なものを受け入れる柔軟性がある人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・ 基礎的な描写力
- ・ 基礎的な色彩と立体の構成力

入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が能力を最大限発揮できるように、受験生の特性を活かした様々な入学試験を実施します。また受験しやすい環境を整え、受験生の将来への可能性を高めます。

【一般選抜】

- ・ 大学入学共通テストによる学力試験および描写、色彩構成、立体構成の実技試験の合算により可否を判定します。
- ・ 可否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

◆陶磁専攻

求める人物像

- ・暮らしに関わる工芸やデザインに関心があり、想像力豊かな人
- ・陶磁分野の可能性を探究し、創作意欲のある人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力
- ・基礎的な色彩による表現力
- ・基礎的な造形力

入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が意欲を持って受験しやすい環境を整えるとともに、基礎的な観察力と表現力を問う入学試験を実施します。

【一般選抜】

- ・大学入学共通テストによる学力試験および描写、色彩表現の実技試験の合算により可否を判定します。
- ・可否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

◆メディア映像専攻

求める人物像

- ・メディア映像表現に強い関心と探究心をもっている人
- ・様々な芸術に強い関心があり、新しい表現を目指す人
- ・問題を発見し、柔軟に解決する思考力と行動力がある人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的なデッサン力
- ・基礎的な構成力
- ・豊かな創造力と表現を試みようとする発想力

入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が能力を最大限発揮できるように、試験問題、試験時間に配慮し受験しやすい環境を整えます。

【一般選抜】

- ・大学入学共通テストによる学力試験およびデッサン、構成の実技試験の合算により、可否を判定します。
- ・可否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

●美術学部のカリキュラム・ポリシー

現代において美術は多様な思想や表現を包括しています。美術学部ではマンツーマンの個人指導を基本に、それぞれの領域の現状を踏まえ専攻ごとの特殊性を尊重したカリキュラムを制定しています。

実技系の授業等とあわせ、美術理論、語学、一般教養等、自由に選択可能な科目を幅広く学ぶことも出来ます。

●美術学部のディプロマ・ポリシー

所定の期間在学し、所属専攻において定める専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけ、最終年次の「卒業制作、卒業論文」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士（芸術）の学位を与えます。

●音楽学部のアドミッション・ポリシー

音楽学部では音楽に対する感性が豊かで表現意欲が旺盛な人や、将来国内はもとより、国際的視野にたった幅広い芸術・研究活動を目指すような、明確な目的意識と強い気概をもった人を求めています。

◆作曲専攻(作曲)

求める人物像

- ・創作研究に対する、謙虚且つ積極的な姿勢を持っている人
- ・感性、知性、表現力、独創性、柔軟性、好奇心、国際性等を持っている人
- ・音楽の創作において必要な基礎的能力を身に付けている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基本的かつ十分な作曲能力。特に楽典に基づいた正しい楽譜の読み書きができること、自己の表現したいものを適切な技術で書き表すことができること、和声、対位法等の理論をある程度習得していること
- ・音楽の基礎的能力（楽曲分析、ソルフェージュ、ピアノ実技等）
- ・西洋音楽史的な素養、特にバロックから近代までの基本的な楽曲を網羅的に知っていること
- ・基礎的な学力、語学力（英語）

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般選抜】

- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。
- ・専門実技試験では、作曲家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の作品を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。

◆作曲専攻（音楽学）

求める人物像

- ・音楽に対する知的好奇心をもっている人
- ・音楽を研究する上で必要な基礎的能力を備えている人
- ・芸術に対する豊かな感受性をもっている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力
- ・論理的思考力および表現力

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般選抜】

- ・論理的思考力および表現力をみる論述・口述試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。

◆声楽専攻

求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力を備えている人
- ・演奏家としての資質を備えている人
- ・積極的に学び、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人

入学前に身につけてほしい学習成果

- 専門実技能力…学ぶ上で大切にしたいことは、第一に自主的に学ぶ姿勢と、積極的に表現しようとする姿勢です。そして、各人の資質に応じた無理のない発声を身につけ、音楽と言葉に対する感性を磨くよう努力して下さい。
- 音楽の基礎的能力…基礎的な読譜力と、ピアノの演奏能力を身につけてきて下さい。また音楽についての知識を積極的に吸収するよう心がけて下さい。
- 基礎的な学力、語学力…歌詞を歌う声楽においては、日本語を含む語学力は必要不可欠なものです。加えて作品の背景を知る為にも、歴史や文学に関する基本的な知識を身につけて下さい。

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般選抜】

- ・ 専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。
- ・ 専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。個々の受験者の演奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。

◆器楽専攻（ピアノ）

求める人物像

- ・ 視野を広く持ち、実力を伸ばすために精進できる人
- ・ 音楽への興味を持ち、ピアノ演奏を通して音楽芸術全般に積極的に関与したい人

入学前に身につけてほしい学習成果

- 基礎的な演奏表現能力（音楽に対する感受性、表現力、演奏技術、暗譜力、読譜力）
日々の練習の際に心がけてほしい点（参考例）
 - ・ 音に対する感性を大切にしたい勉強
 - ・ 感じたことを表現しようとする姿勢
 - ・ 音階、アルペジオをはじめとする継続的な基礎技術の学習
 - ・ できる限り多くの作品を勉強すること
 - ・ 様々なジャンルのクラシック音楽に親しむこと
- 音楽の基礎的能力（ソルフェージュと楽典の基礎）
- 基礎的な学力・・・外国語や一般教科の学習にもできる限り力を入れて下さい。

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般選抜】

- ・ 専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。
- ・ 専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の独奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。

◆器楽専攻（弦楽器）

求める人物像

- ・ 演奏家としての資質と技術を備えている人
- ・ 将来音楽界、芸術教育界を担うべく意欲旺盛な人
- ・ より高い技術やより深い音楽性を食欲に求める人
- ・ アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・ 自然を愛し、豊かな感受性、想像力を備えている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- 専門実技能力
 - ・ 音に対する感性を大切にしたい勉強
 - ・ 感じたことを表現しようとする姿勢
 - ・ 音階・練習曲等、基礎技術の学習
 - ・ 様々な時代様式の作品の勉強
- 音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- 基礎的な学力、語学力

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般選抜】

- ・ 専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。
- ・ 専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の独奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。

◆器楽専攻（管打楽器）

求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力、表現意欲を備えている人
- ・人との関わりや思いやりを大切にし、協調性、適応能力に優れた人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・物事への積極性があり、国際的な視野を持っている人

入学前に身につけてほしい学習成果

- ・主要オーケストラ作品、室内楽など様々な作品に親しみ、知識を広げておくこと
- ・高いレベルの演奏表現能力
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力

入学試験の基本的な方針・考え方

【一般選抜】

- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。
- ・専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の独奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。

●音楽学部のカリキュラム・ポリシー

学生の個性を最大限に伸ばすため、専門実技授業では4年間徹底した個人指導による教育を行います。

1、2年次では特に基礎教育を重視し、3、4年次には将来の幅広い活動を支えるだけの応用力を養うための様々な実践的授業が用意されています。

実技系の授業等とあわせ、音楽理論、語学、一般教養等、自由に選択可能な科目を幅広く学ぶことも出来ます。

●音楽学部のディプロマ・ポリシー

音楽学部では国際的視野に立った芸術・研究活動の展開を目指すような、明確な目的意識と強い気概、実力を伴った人間性豊かな人材の育成を目標としています。

卒業までに、確固とした個性と豊かな感性を養い、音楽における高度な専門実技能力と深い知識、そして幅広い教養を身につけることが求められます。

所定の期間在学し、最終年次の「卒業作品」、「卒業論文」又は「卒業演奏」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士（芸術）の学位を与えます。

目 次

1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願手続	3
4. 出願書類	3
5. 学部別試験日程及び成績請求票種別	4
6. 出願・受験上の諸注意	4
7. 障がい有する等の入学志願者との事前相談について	5
8. 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先	5
9. 入学試験	
(1) 選抜方法	5
(2) 入学者選抜の実施教科・科目等について（美術学部）	6
(3) 入学者選抜の実施教科・科目等について（音楽学部）	7
(4) 個別学力検査等（専攻別実技試験等）	8
10. 合格発表	8
11. 入学手続	8
12. 授業料	9
13. その他（学生寮）	9
14. 入学検定料、入学料、授業料の免除・還付制度について	10
15. 入試結果の開示	10
16. 個人情報の取扱いについて	11
■美術学部個別学力検査等（専攻別実技試験等）日程表	12
■音楽学部個別学力検査等（専攻別実技試験等）日程表	14
■入試情報	
(1) 令和5年度入試 評価基準	16
(2) 令和5年度入試 判定基準	18
(3) 令和4年度入試 実施状況	21
(4) 令和4年度入試 試験問題	22
■令和6年度入試変更点の予告	25
■出願書類関係・様式集	
・入学願書等記入上の注意	26
・令和5年度 美術学部 一般選抜 活動報告および志願理由書	
・入学検定料振込依頼書（美術学部用）	
・入学検定料振込依頼書（音楽学部用）	

令和5年度 愛知県立芸術大学 一般選抜学生募集要項

1 募 集 人 員

学部	学 科	専攻（コース）		入学定員	募集人員	備 考	
美術学部	美術科	日 本 画		10	10		
		油 画		25	25		
		彫 刻		10	10	総合型選抜募集人員若干名を含む。	
		芸 術 学		5	5		
	デザイン・工芸科	デ ザ イ ン		25	17	社会人特別選抜募集人員若干名を含む。 総合型選抜募集人員 8 名	
		陶 磁		10	10	総合型選抜募集人員若干名を含む。	
		メディア映像		10	10	総合型選抜募集人員若干名を含む。	
計			95	87			
音楽学部	音楽科	作曲	作 曲	8	8	総合型選抜募集人員若干名を含む。	
			音 楽 学	2	2	学校推薦型選抜募集人員若干名を含む。	
		声 楽		30	30	ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、 テノール、バリトン、バス 学校推薦型選抜募集人員若干名を含む。	
			器 楽	ピ ア ノ	25	25	
		弦 楽 器		15	15	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、 コントラバス、ハープ 学校推薦型選抜募集人員若干名を含む。	
		管 打 楽 器		20	20	フルート、オーボエ、クラリネット、 ファゴット(バスーン)、サクソフォーン、 ホルン、トランペット、トロンボーン、 バストロンボーン、ユーフォニアム、 チューバ、打楽器(スネアドラム)、 打楽器(マリンバ) 学校推薦型選抜募集人員若干名を含む。	
		計			100	100	

2 出 願 資 格

本学に出願できる者は、令和5年度大学入学共通テストにおいて本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの

- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの

注：外国人留学生は、入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において、大学入学に支障のない在留資格を取得してください。私費外国人留学生は、大学入学共通テストを受験する必要はありませんが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を次のとおり受験してください。

「日本留学試験」

- ① 美術学部については、「日本語」と「総合科目」を、音楽学部については、「日本語」と「総合科目」を受験するか、「日本語」と「数学（コース1又はコース2）」を受験してください。
- ② 「総合科目」、「数学（コース1又はコース2）」については、日本語による問題を受験してください。
- ③ 令和4年6月実施・11月実施のいずれかの試験を受験してください。
- ④ 渡日前の入学許可は行いません。（外国において本学の入学者選抜は行いません。）

参考：独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話 03-6407-7457（直通）

3 出 願 手 続

- (1) 出願期間

令和5年1月23日(月)から2月3日(金)まで 締切日消印有効

- (2) 出願書類は、必ず本学所定の封筒（志望専攻・コース名を○で囲むこと。）を用い、「簡易書留速達郵便」により郵送してください。普通郵便及び直接持参は受理しません。

4 出 願 書 類

○印は、募集要項にとじ込みの本学所定様式です。

書 類 等		摘 要
入 学 願 書 受 験 者 写 真 票 (注1)	○	1 本要項に添付のOCR用紙に必要事項を記入してください。 2 記入はすべて黒のボールペンを使用し、楷書で丁寧に記入してください。 3 受験者写真票には、正面、上半身、脱帽で出願前3ヶ月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm、裏面に氏名、志望専攻・コース名を記入）を所定の位置に貼付してください。 4 入学願書の住所は、入学許可通知書等の送付時に使用しますので、確実に本人に届く住所を記入してください。
調 査 書		1 出身学校長が作成し、厳封したものにしてください。 2 指導要録の保存期間経過により調査書が作成できないときは、次の①②を提出してください。 ① 卒業証明書 ② 成績証明書または単位取得証明書等（発行できない場合は、出身学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。） 3 廃校、被災等により調査書の作成ができないときは、これに代わるべき機関による適宜の証明で調査書に代えることができます。 4 高等学校卒業程度認定試験に合格した者については、その試験の合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書または成績証明書（単位取得証明書）も提出してください。 5 私費外国人留学生については、次の①②を提出してください。 ① 小学校入学から最終出身学校までの学歴を記載したもの ② 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書 （①②とも日本語訳を添付してください。）
成 績 確 認 書 (私費外国人留学生のみ)		私費外国人留学生は、「2022年度日本留学試験（6月実施または11月実施分）」の成績確認書の写しを提出してください。

書 類 等		摘 要
入 学 検 定 料 17,000 円(注2)	○	1 入学検定料振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。 2 「ご依頼人」欄は、受験者本人の氏名を記入してください。 3 入学検定料の納入は、振込依頼書により令和5年1月16日(月)以降に必ず 金融機関の窓口 で行ってください。ゆうちょ銀行及びATMからは送金しないでください。 4 振込手数料は、各自ご負担ください。 5 検定料納付証明書は入学検定料納付証明書貼付欄に貼付してください。
受 験 票 送 付 用 封 筒	○	「受験票在中」と表示してある本学所定の長形3号封筒に志願者の 受信地住所・氏名・郵便番号 を記入し、 速達郵便料金(344円) 分の切手を貼付してください。
大 学 入 学 共 通 テ ス ト 成 績 請 求 票		1 出願する学部の日程に従った令和5年度大学入学共通テスト成績請求票(後期日程用)を、入学願書の所定の欄に貼付してください。 2 成績請求票を間違えて貼付した場合は、無効となりますから注意してください。
活動報告および志願理由書 (美術学部のみ)	○	美術学部の志願者は、本学所定の「令和5年度 美術学部 一般選抜 活動報告および志願理由書」に記載の上、提出してください。
専 攻 別 提 出 用 紙 (音楽学部のみ)	○	声楽専攻、器楽専攻(ピアノ、弦楽器)の志願者は、別冊「令和5年度音楽学部一般選抜課題曲」を参照し、提出してください。 声楽専攻志願者は、楽譜も提出してください。

(注1) 様式に必要事項を記入してください。入学願書に記入する氏名と、成績証明書等に記載された氏名とが異なる場合は、氏名変更の経緯が確認できる書類(戸籍抄本等)を提出してください。

(注2) 願書を受理した後は、既納の検定料は返還しません。

ただし、出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合は、13,000円を返還します。返還される場合は、「還付請求書」を発送しますので、返還の手続きを行ってください。

5 学部別試験日程及び成績請求票種別

学 部	試験日程	成績請求票の種類
美 術 学 部	後 期 日 程	後 期 日 程 用
音 楽 学 部	後 期 日 程	後 期 日 程 用

6 出願・受験上の諸注意

- 本学の試験は「後期日程」で実施します。他の「後期日程」の大学・学部への出願はできません。
- 前期日程試験に合格し、その入学手続を行った者は、本学を受験しても合格者とはなりません。**
また、国公立大学・学部の学校推薦型選抜・総合型選抜合格者も、当該選抜を実施する大学学部の定める入学辞退手続により辞退を許可された場合を除いて、本学の入学試験を受験しても合格者とはなりません。
- 出願後の志望学部・専攻(コース)の変更は認めません。**
- 出願書類に不備、記載もれがあるときは受理しません。
- 訂正した箇所には、必ず訂正印を押してください。
- 試験の当日、本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を必ず持参してください。**
私費外国人留学生は、大学入学共通テスト受験票の代わりに「日本留学試験」の受験票を持参してください。
- 受験票は、令和5年2月中旬以降に発送します。2月24日(金)までに本学受験票が到着しない場合は、入試課に照会してください。**
- 出願後、連絡先を変更したいときは、速やかに入試課まで書面(連絡先住所にふりがなをつけてください。)で届け出てください。
- 出願に際しての照会は、入試課まで電話でお問い合わせください。

- (10) 入学試験における提出物や作品は本学の入試資料として本学発行の冊子やウェブサイトに掲載、進学説明会で展示することがあります。
- (11) 試験は、対面で実施します。海外から来日し受験を検討している方は、日本へ入国・滞在できるか否かについて、出願前に必ずご自身で確認してください。入国できない場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。

7 障がい有する等の入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、障がい有する者等は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に、あらかじめ文書で本学に申し出てください。

(1) 申し出の時期

令和4年11月30日(水)まで

(2) 申し出の方法

次の事項を記載し、入試課まで申し出てください。

①志望学部・専攻 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項

④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項

なお、申し出に基づき相談が必要となった場合は下記によります。

(3) 相談の時期

令和5年1月6日(金)まで

(4) 相談の方法

相談申請書に医師の診断書(身体障害者手帳を有する者はその写し)、担当教員等の所見書(高等学校での学習状況・生活状況を記載)を添えて出身高等学校等を通じて提出してください。

必要に応じ、本学において志願者との面談等を行います。

(5) その他

重度難聴者で、大学入学共通テストの英語のリスニングを免除された者については、リーディング(100点満点)の成績を200点満点として換算します。大学入試センターの発行する「受験上の配慮事項決定通知書」の写しを提出してください。

8 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

愛知県立芸術大学 入試課

電話 0561-76-2603 (直通) (照会時間は午前9時から午後5時まで)

メールアドレス admission_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

9 入 学 試 験

(1) 選抜方法

本学の入学試験は、大学入学共通テスト、個別学力検査等(専攻別実技試験等)及び出身学校長の調査書により総合的に判定します。なお、本学においては、「大学入学共通テストの前年度成績」は利用しません。

(私費外国人留学生の場合は、大学入学共通テストの代わりに「日本留学試験」の成績を用います。)

(2)令和5年度 愛知県立芸術大学入学者選抜の実施教科・科目等について(美術学部)

学部・学科等名 及び入学定員等 (令和4年度) 志願倍率	学力検査 等の区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等	特別の選抜 方法等
		教科	科目名等		教科等	科目名等		
美術学部	美術科 日本画専攻 10人	外国	国語 1科目 必須 英、独、仏、中、韓 から1科目 必須	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 から1科目 教I、教I・教A、教II、教II・教B、簿・会、情報 から1科目 物理、化学、生物、地学 から1科目 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 から2科目(1科目扱い) 【3教科3科目】	その他	実技検査	大学入学共通テスト・個別学力検査・調査書・活動報告および志願理由書等により総合的に判断する。 ※調査書・活動報告および志願理由書は、合否ラインで総合得点が並んだ場合に活用する。	追加合格
	[8.1] 美術科 油画専攻 25人	地歴・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 から1科目 教I、教I・教A、教II、教II・教B、簿・会、情報 から1科目 物理、化学、生物、地学 から1科目 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 から2科目(1科目扱い) 【3教科3科目】		その他	実技検査	大学入学共通テストの選択科目について、地歴・公民・教及び理の中から得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、英語についてはリーディング(100点満点)およびリスニング(100点満点)を合計することで、200点満点として利用する。数・地歴・公民及び理の得点については、国・外の2教科と同一の200点満点として換算する。	追加合格
	美術科 彫刻専攻 10人	後期 3月14日 15日	後期 3月14日 15日		その他	実技検査	総合型 追加合格	
	美術科 芸術学専攻 5人	外国 地歴	国語 1科目 必須 英、独、仏、中、韓 から1科目 必須 世A、世B、日A、日B から1科目 必須 【3教科3科目】	外 その他	英語 小論文 実技検査	大学入学共通テスト・個別学力検査・調査書・活動報告および志願理由書等により総合的に判断する。 ※調査書・活動報告および志願理由書は、合否ラインで総合得点が並んだ場合に活用する。 地歴の科目を複数受験した場合は、最も得点の高い1科目を選んで入学者選抜に用いる。地歴の得点については、国・外の2教科と同一の200点満点として換算する。 なお、英語についてはリーディング(100点満点)およびリスニング(100点満点)を合計することで、200点満点として利用する。	追加合格	
デザイン・工芸科 デザイン専攻 25人	後期 3月16日 17日	外国	国語 1科目 必須 英、独、仏、中、韓 から1科目 必須	その他	実技検査	大学入学共通テスト・個別学力検査・調査書・活動報告および志願理由書等により総合的に判断する。 ※調査書・活動報告および志願理由書は、合否ラインで総合得点が並んだ場合に活用する。	総合型 社会人特別 追加合格	
	デザイン・工芸科 陶磁専攻 10人	地歴・公民	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 から1科目 教I、教I・教A、教II、教II・教B、簿・会、情報 から1科目 物理、化学、生物、地学 から1科目 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 から2科目(1科目扱い) 【3教科3科目】	その他	実技検査	大学入学共通テストの選択科目について、地歴・公民・教及び理の中から得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、英語についてはリーディング(100点満点)およびリスニング(100点満点)を合計することで、200点満点として利用する。数・地歴・公民及び理の得点については、国・外の2教科と同一の200点満点として換算する。	総合型 追加合格	
	デザイン・工芸科 メディア映像専攻 10人	後期 3月14日 15日	後期 3月14日 15日	その他	実技検査	総合型 追加合格		

※定められた教科・科目を受験していない者には、個別学力検査等の受験を認めませんので、十分注意してください。

(3)令和5年度 愛知県立芸術大学入学者選抜の実施教科・科目等について(音楽学部)

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和4年度〕 志願倍率		学力検査 等の区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		特別の選抜 方法等			
			教科	科目名等	教科等	科目名等				
音楽学部	音楽科 作曲専攻 (作曲) 8人	後期 3月11日 12日 13日 15日	外 国 地歴・ 公民 数 理	英、独、仏 から1科目必須 国語 1科目 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 から1科目 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情報 から1科目 物理、化学、生物、地学から1科目 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 から2科目 (1科目扱い) 【2教科2科目】	その他	実技検査 口述試験	大学入学共通テスト・個別学力検査及び調査書等により総合的に判定する。 大学入学共通テストの選択科目は、2教科2科目以上を受験した場合、得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、国語については100点満点として換算する。英語についてはリーディングを160点満点(小数点第2位を四捨五入)に換算した点と、リスニングを40点満点(小数点第2位を四捨五入)に換算した点の合計を200点満点として利用する。	総合型 追加合格		
	音楽科 作曲専攻 (音楽学) 2人	後期 3月12日 13日 15日			外 その他	外国語 (英、独、仏から 1科目選択) 実技検査 論述試験 口述試験				
	音楽科 声楽専攻 30人	後期 3月11日 12日 13日 15日			その他	実技検査			追加合格	学校推薦型 追加合格
	音楽科 器楽専攻 (ピアノ) 25人	後期 3月9日 10日 12日 13日 15日			その他	実技検査				
	音楽科 器楽専攻 (弦楽器) 15人	後期 3月12日 13日 15日			その他	実技検査			追加合格	学校推薦型 追加合格
音楽科 器楽専攻 (管打楽器) 20人	後期 3月11日 13日 15日	その他	実技検査	追加合格	学校推薦型 追加合格					

※定められた教科・科目を受験していない者には、個別学力検査等の受験を認めませんので、十分注意してください。

(4) 個別学力検査等（専攻別実技試験等）

学部	期 日	試験場	試験日程及び試験科目
美術学部	令和5年 3月12日（日）から 3月18日（土）まで	本学	12 ページの日程表のとおりです。
音楽学部	令和5年 3月9日（木）から 3月15日（水）まで	本学	14 ページの日程表のとおりです。 課題曲は別冊を参照ください。

入試情報提供専用サイトにおいて「受験心得」及び試験会場を掲載します。必ず確認してください。

入試情報提供専用サイト <https://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

10 合 格 発 表

(1) 日時及び場所

① 日 時 美術学部／音楽学部 令和5年3月21日（火）午前11時

② 場 所 本学にて掲示します。

※ 合格者には、入学許可通知書及び『入学ガイド』（入学手続要領）を郵送します。

（注1）電話等による問い合わせには一切応じません。

（注2）本学ウェブサイトにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが、入学許可通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

入試情報提供専用サイト <https://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

愛知芸大 合格発表

検索

(2) 追加合格

合格発表の後、定員に欠員が生じた場合は、令和5年3月28日（火）に該当者に電話で連絡します。

ただし、電話に出ない場合もしくはその場で諾否の意思表示ができない場合は、入学を辞退したものとみなします。

11 入 学 手 続

(1) 手続日

美術学部／音楽学部 令和5年3月27日（月）

(2) 場所

本学

(3) 入学料及び保険料

286,660 円

（内訳） 入学料 282,000 円

学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償保険 保険料 4,660 円

① 入学料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、令和5年度入学料は、改定されることがあります。

② 納付された入学料及び保険料は、返還しません。

③ その他入学時に要する経費がありますが、金額・納入方法については合格者に別途連絡します。

参考までに、美術学部入学者には前記納入金以外に次のような経費が必要となります。

専 攻	金 額	内 訳
日 本 画 専 攻	300,000円	古美術研究旅行費 100,000円 材料費 200,000円
油 画 専 攻	160,000円	古美術研究旅行費 100,000円 基礎実技実習費 60,000円
彫 刻 専 攻	400,000円	古美術研究旅行費 100,000円 教材費 300,000円
芸 術 学 専 攻	100,000円	古美術研究旅行費
デ ザ イ ン 専 攻	110,000円	古美術研究旅行費 60,000円 教材費 50,000円
陶 磁 専 攻	320,000円	研修旅行費 200,000円 道具代 80,000円 原材料費（1年生分） 40,000円
メディア映像専攻	180,000円	学外研究旅行費 80,000円 メディア・教材費 100,000円

(4) 入学料及び保険料振込にあたってのお願い

- ① 合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料及び保険料を納入し、所定の提出書類と、入学料及び保険料の振込金受取書を持参の上、指定された期日に入学手続をしてください。
- ② 入学料及び保険料の納入は、**金融機関の窓口**で行ってください。ゆうちょ銀行及びATMからは送金しないでください。
- ③ 振込金依頼書の「**ご依頼人**」欄は**合格者本人の氏名**を記入してください。

(5) 入学手続の諸注意

- ① 入学手続には、**大学入学共通テスト受験票を必ず持参**してください。（確認後返却します。）
- ② この手続を完了しない場合は、**入学を辞退**したものとして取り扱います。
- ③ その他入学手続の詳細については、合格者に別途通知します。
- ④ 一つの国公立大学・学部（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）に入学手続を完了した者は、それ以降これを辞退して他の国公立大学・学部に入入学手続をすることができません。
- ⑤ 入学手続を完了した者であっても出願資格において「見込み」で受験し、入学に必要な要件を令和5年3月31日までに満たせない場合は、入学許可を取り消します。

12 授 業 料

年額 535,800 円（前期・後期各 267,900 円。前期分は4月、後期分は10月に徴収します。）

授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。

なお、授業料は改定されることがあります。

13 その他（学生寮）

- ・ 三ヶ峯寮（女子学生寮）入寮を希望される方は、必ず本学ウェブサイトで情報を確認してください。

（URL：<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/guide/guide02/guide02-09.html>）

- ・ 入寮者募集要項については、令和4年12月頃に当該ウェブサイト以案内します。
- ・ 入寮の申込期限は合格発表前（令和5年3月15日予定）です。ご注意ください。

14 入学検定料、入学料、授業料の免除・還付制度について

(1) 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

- ① 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- ② 入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者
- ③ 入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

問合せ期限	令和4年12月23日（金）
-------	---------------

(2) 入学料の還付

高等教育の修学支援新制度において、支援の対象者となっている学生へ入学後、支援区分に応じて入学料の一部若しくは全額を還付します。※入学料は必ず全額納付してください。

(3) 授業料の免除

○日本人学生

高等教育の修学支援新制度において、支援の対象者となっている学生へ、支援区分に応じて授業料の一部若しくは全部について免除します。

○外国人留学生

外国人留学生対象の授業料免除制度が設けられています。詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。

※内容については、今後変更する可能性があります。

(4) 問合せ先

学務部学務課 メールアドレス g-shien@mail.aichi-fam-u.ac.jp

15 入試結果の開示

愛知県個人情報保護条例に基づき、受験者本人が口頭により自己の入試結果の開示を請求することができます。

※令和5年度入学者については、入学後に利用できる「教育支援システムポータルサイト（UNIPA）」にて、開示請求できる期間中に、入試結果を閲覧できます。

① 開示請求できる範囲

○美術学部

- ・ 大学入学共通テストの科目別得点（大学が合否判定に用いる教科・科目に限ります）及びその合計点
- ・ 個別学力検査等の科目別得点
- ・ 総合得点
- ・ 総合ランク（A、B、C、D、Eの5ランクで開示します。）

○音楽学部

- ・ 大学入学共通テストの科目別得点（大学が合否判定に用いる教科・科目に限ります）
- ・ 個別学力検査等の科目別得点
- ・ 専攻別実技試験のランク（A、B、C、D、Eの5ランクで開示します。）

② 開示請求できる期間

令和5年4月13日（木）から5月12日（金）まで
午前9時から午後5時まで
ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

③ 開示請求の受付を行う場所

本学管理棟3階 芸大総務課

④ 開示の方法

本人部分のみ閲覧

- ⑤ 開示請求に必要な書類
受験票と、身分証明書（運転免許証、健康保険証、旅券その他官公署の発行する証明書等）
- ⑥ 開示請求方法
受験者本人が、口頭で芸大総務課に申し出てください。
- ⑦ その他
電話、E-mail 等による成績の開示はいたしません。
- ⑧ 開示に関する問合せ先
芸大総務課 電話 0561-76-2408（直通）

入試結果の情報提供

受験者本人の申し出に限り、郵送による成績の情報提供を行います。
申込方法及び申請書など、詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。

16 個人情報の取扱いについて

個人情報については、個人情報保護に関連する法令に基づき適切に管理します。

(1) 利用目的について

出願にあたって提出された氏名・住所等の個人情報は、入学者選抜並びに必要な応じ入学後の学籍管理、学習指導及び学生支援関係業務において利用します。

なお、国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名・受験番号・合否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学への情報提供に使用します。

(2) 第三者への個人情報の提供

取得した個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。

ただし、個人情報の保護に関する法令の定めるところにより、提供すべき義務を負う場合には本人の同意を得ることなく個人情報を提供することがあります。

美術学部個別学力検査等（専攻別実技試験等）日程表

試験日程及び試験科目

専攻別実技試験等は、次の表のとおりです。

学科	美術科				デザイン・工芸科		
専攻	日本画	油画	彫刻	芸術学	デザイン	陶磁	メディア映像
日程 年月日	後期						
令和5年 3月12日 (日)		第1次試験 素描 10:00～17:00 木炭又は鉛筆 (併用可) 試験用紙（木炭紙・画用紙）を配布時に選択					
3月13日 (月)							
3月14日 (火)	第1次試験 石膏素描 9:00～16:00 試験用紙（画用紙）を配布		素描 9:00～16:00 以下の3点の石膏像から1点を出題 （ラボルト、ミケランジェロ、ヘルメス） 木炭又は鉛筆 (併用可) 試験用紙（木炭紙・画用紙）を配布時に選択				描写 10:00～15:00
3月15日 (水)			塑造 9:00～17:00 材料と道具を配布				発想構成(※) 10:00～15:00
3月16日 (木)	第1次合格発表 11:00				描写 10:00～14:00		
3月17日 (金)	第2次試験 水彩画 10:00～15:00 水張りパネル（画用紙）を配布	第2次試験 油画又は水彩画 10:00～15:00 キャンバス又は水張りパネルを配布 （アクリル絵具使用可）		英語 10:30～11:30 小論文 12:30～13:30 素描（鉛筆） 14:00～16:00 試験用紙（画用紙）を配布	色彩構成及び立体構成 （同時出題） 9:00～15:00	描写 10:00～17:00	
3月18日 (土)						色彩表現 10:00～17:00	
3月21日 (火)	合格発表 11:00						

※ 今年度から試験科目の名称のみ変更しました。

学科	専 攻	持 参 す る 試 験 用 具 等
美術科	日本画	第1次試験 鉛筆デッサン用具一式（測り棒、デスケル可）
		第2次試験 水彩画用具一式（測り棒、デスケル可）、鉛筆、消しゴム、ナイフ
	油 画	第1次試験 木炭、鉛筆、消し具、測り棒もしくはそれに準ずるもの、 下敷用紙（白紙）、定着液（フィクサティブ）
		第2次試験 油彩用具一式（第1次試験時に水彩画を希望をした者は水彩用具一式） ※アクリル系描画用具も可
	彫 刻	素描 素描用具一式（測り棒、デスケル可）、下敷用紙（白紙）、定着液（フィクサティブ）
		塑造 鉛筆、消し具、スケッチブック（A3以内）、粘土制作に適した服装 （塑造用ヘラの持込み可）
	芸 術 学	筆記用具、鉛筆デッサン用具一式
デザイン・工芸科	デザイン	描写 鉛筆デッサン用具一式（測り棒、デスケル可）
		色彩・ 立体構成 鉛筆、消しゴム、製図用具、ポスターカラー等水性絵の具、 彩色用具一式、はさみ、カッターナイフ
	陶 磁	描写 鉛筆デッサン用具一式（測り棒、デスケル可）
		色彩表現 鉛筆、消しゴム、水彩用具一式（透明水彩用具、ポスターカラー、 グアッシュ等）、筆、筆洗、パレット又は絵具皿、定規
	メディア 映 像	描写 鉛筆デッサン用具一式
		発想構成 鉛筆、消しゴム、定規、はさみ、カッターナイフ、彩色用具一式

【注意事項】

- （1） 昼食について
試験が午前と午後にはわたるときは、正午から午後1時までを昼食時間とします。
ただし、陶磁専攻（3月18日）については、午後1時から午後2時までを昼食時間とします。
なお、デザイン専攻及びメディア映像専攻を除いて、その時間内での制作はできません。
- （2） 所定用紙等について
試験で使用する用紙は、**大学所定の用紙**とします。その他の用紙を使用した場合は、その試験を無効とします。なお、イーゼル、カルトン、画板、キャンバス、用紙は大学側で用意します。
- （3） その他の持参するものについて
ボールペン（氏名記入用）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判明しづらいもの、ウェアラブル端末、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは使用不可。ウェアラブル端末については、着用することもできません。）
- （4） 「受験心得」について
試験場の詳細な案内図は、当日会場に図示するほか、入試情報提供専用サイトで掲載する「受験心得」の中に記載しますので、事前に確認しておいてください。
- （5） 集合時間について
試験当日は、試験開始時刻の40分前までに、当日、会場の掲示にて発表する指定場所に必ず集合してください。（ただし、油画専攻の第1次試験受験者は、試験開始時刻の1時間前までに集合してください。）
- （6） 遅刻の取り扱いについて
試験開始後1時間以上遅刻した者は、原則として当日の受験は認めません。（やむを得ない理由で遅刻をした者は、係員に申し出てその指示に従ってください。ただし、試験時間の延長はしません。）
- （7） 複数日にわたる試験の取り扱いについて
日本画、油画、彫刻、デザイン、陶磁及びメディア映像専攻は2日間共に受験しないと、合否判定の対象になりません。
- （8） 第2次試験を受けることができる者は、第1次試験合格者に限ります。
- （9） **第1次合格発表は、本学にて午前11時に掲示します。**
電話等による問い合わせには一切応じられませんので注意してください。
本学ウェブサイトにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが、本学の掲示をもって正式な発表としますので、ご了承ください。
入試情報提供専用サイト <https://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>  
- （10） 試験当日、受験者の付添人等の大学構内への立入は禁止します。
- （11） 学内に受験生のための駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。
- （12） 表紙裏の「新型コロナウイルス感染症への対応について」を必ずご確認ください。

音楽学部個別学力検査等（専攻別実技試験等）日程表

試験日程及び試験科目

専攻別実技試験等は、次の表のとおりです。

専攻 (コース)		作 曲		声 楽	器 楽		
		作 曲	音 楽 学		ピ ア ノ	弦 楽 器	管 打 楽 器
日程 年月日		後 期					
令和5年	専 攻 別 実 技 試 験				第1次試験 課 題 曲		
3月9日 (木)					第1次試験 課 題 曲		
3月10日 (金)					第1次試験 課 題 曲		
3月11日 (土)		第1次試験 (1)和声課題 13:00～16:00		第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 コールユーブンゲン	第1次 合格発表 11:00		第1次試験 課 題 曲 (※)
3月12日 (日)		(2)器楽曲作曲 9:30～ 前半3時間 (ピアノなし) ／後半4時間 (ピアノあり)	第1次試験 音楽学に関する基礎的試験 論述 10:00～12:00 外国語(英, 独, 仏から1科目) 13:30～14:30	第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 コールユーブンゲン	第2次試験 課 題 曲	第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 〔ヴァイオリン〕 〔ヴィオラ〕	第1次 合格発表 11:00
3月13日 (月)		(3)口述試験* (面接を含む) *試験で書いた 答案についての 質疑応答 10:00～	第1次試験 口述 10:00～	第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 コールユーブンゲン	第2次試験 課 題 曲	第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 〔チェロ〕 〔コントラバス〕 〔ハープ〕	第2次試験 課 題 曲 (※)
3月14日 (火)		第1次合格発表 11:00			第2次 合格発表 11:00	第1次 合格発表 11:00	第2次 合格発表 11:00
3月15日 (水)	副 科 試 験	聴音・ 新曲視唱 副科ピアノ	聴音・ 新曲視唱 副科ピアノ 楽典	聴音・ 新曲視唱 副科ピアノ 楽典	聴音・ 新曲視唱 楽典	聴音・ 新曲視唱 副科ピアノ 楽典	聴音・ 新曲視唱 副科ピアノ 楽典
3月21日 (火)	合 格 発 表 11:00						

※ 管打楽器種類

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット（バスーン）、サクソフォーン、ホルン、
トランペット、トロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、
打楽器（スネアドラム）、打楽器（マリンバ）

注：この日程は、出願状況によって変更することがあります。実施日程は令和5年2月17日（金）より本学ウェブサイトに掲載しますので、必ず確認してください。

【注意事項】

- (1) 試験に関する諸事項は、すべて掲示及び本学ウェブサイトにより発表します。
第1次試験の集合時刻、集合場所等を令和5年2月17日（金）午前10時から本学での掲示に併せ入試情報提供専用サイト（<https://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>）にて発表します。
受験者は各専攻（コース）の試験日の前日までに確認してください。
- (2) 受験者は、集合時間を厳守してください。
遅刻した場合は、受験できないことがあります。
- (3) 第2次試験を受けることができる者は、第1次試験合格者に限ります。
- (4) 器楽専攻（弦楽器）のヴァイオリンを受験する者に限り、第2志望としてヴィオラを志望することができます。なお、この場合、実技試験としてのヴィオラ演奏は課しません。
- (5) 第1次、第2次合格発表は、本学にて午前11時に掲示します。
試験の集合時刻、集合場所等も含め掲示します。
本学ウェブサイトで情報提供を行います。掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが、学内掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。
入試情報提供専用サイト <https://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>
- (6) 電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。
- (7) 試験当日、受験者の付添人等の大学構内への立入は禁止します。
- (8) 学内に受験者のための駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。
- (9) 表紙裏の「新型コロナウイルス感染症への対応について」を必ずご確認ください。

愛知芸大 合格発表

検索

■ 入 試 情 報

(1) 令和5年度入試 評価基準

① 美術学部

○ 美術科（日本画専攻、油画専攻）

<第1次試験>

試験区分 学部・学科・専攻名			試験科目	評 価 基 準
美術学部	美術科	日本画	石膏素描	モチーフの形や質感を正確に観察、把握し、描写表現する能力をみる。（描写力、表現力、空間認識力）
		油画	素描	素描を通して基礎的な描く能力と表現力をみる。

<第2次試験>

試験区分 学部・学科・専攻名			試験科目	評 価 基 準
美術学部	美術科	日本画	水彩画	画面構成力、色彩感覚、描写力、表現力等をみる。
		油画	油画又は水彩画	絵画制作に必要な能力と表現力をみる。

○ 美術科（彫刻専攻、芸術学専攻）

試験区分 学部・学科・専攻名			試験科目	評 価 基 準
美術学部	美術科	彫 刻	素 描	基礎的な描写力と表現力をみる。
			塑 造	立体造形力と感性をみる。
		芸 術 学	英 語	読解力、ボキャブラリーの知識、翻訳能力をみる。
			小 論 文	問題考察力、鑑賞力、文章構成力、論理性をみる。
			素 描	観察力、描写力をみる。

○ デザイン・工芸科（デザイン専攻、陶磁専攻、メディア映像専攻）

試験区分 学部・学科・専攻名			試験科目	評 価 基 準
美術学部	デザイン・工芸科	デザイン	描 写	モチーフの特徴(形態、質感、印象)を観察し、把握する力をみる。画面の構成力、描写の表現力をみる。
			色 彩 構 成	課題内容の把握力、理解力をみる。 画面構成力、色彩感覚、造形力をみる。 独自の感性、表現の探究力をみる。
			立 体 構 成	課題内容の把握力、理解力をみる。 空間認識力、立体感覚、造形力をみる。 独自の感性、表現の探究力をみる。
		陶 磁	描 写	モチーフの形や質感を正確に観察、把握し、描写表現する能力をみる。
			色 彩 表 現	モチーフを生かした色彩表現において、描写力・構成力・発想力・空間認識力をみる。
		メディア映像	描 写	モチーフの形や質感を正確に観察、把握し、描写表現する能力をみる。（描写力、技術力、空間認識力等）
			発 想 構 成	構成力、造形力、発想力をみる。

② 音楽学部

< 第 1 次試験 >

試験区分 学部・学科・ 専攻（コース）名				試験科目	評 価 基 準
音 楽 学 部	音 楽 科	作 曲	作 曲	和 声	和声に対する感覚・能力をみる。
				器 楽 曲 作 曲	種々の作曲法を踏まえつつ、いかに創造的な音楽を生み出す能力を持っているかをみる。
				口 述 試 験 （面接を含む）	音楽を理論的・分析的に考え、それを説明する能力をみる。
			音 楽 学	外 国 語	外国語の文章の的確な読解力をみる。
				音楽学に関する 基 礎 的 試 験	音楽を分析的に洞察する能力をみる。
		声 楽	課 題 曲 自 由 曲 コールユーブンゲン		演奏の基礎的能力と表現力をみる。 リズム、音程などの基礎的能力をみる。
			器 楽	ピ ア ノ	課 題 曲
		弦 楽 器		課 題 曲 自 由 曲	演奏の基礎的能力と表現力、及び発展の可能性をみる。
		管打楽器		課 題 曲	演奏の基礎的能力(音程、音色、リズム等)をみる。

< 第 2 次試験 >

試験区分 学部・学科・ 専攻（コース）名				試験科目	評 価 基 準
音 楽 学 部	音 楽 科	器 楽	ピ ア ノ	課 題 曲	演奏における、より高度な音楽的表現力をみる。
			管打楽器	課 題 曲	演奏に際しての表現力、創造力に加え、ソルフェージュ等の基礎的能力をみる。

(2) 令和5年度入試 判定基準（点数配分）

① 美術学部

ア 大学入学共通テスト受験生

○ 美術科（日本画専攻、油画専攻）

試験区分 学部・学科			第1次選考試験								第2次選考試験	
			大学入学共通テスト						個別学力検査等第1次	合計	個別学力検査等第2次	計
美術学部	美術科	専攻名	国語	外国語	地理 歴史	公民	数学	理科	小計		実 技	
		日 本 画	200	200	200 ※				600	1,600	1,000	1,000
		油 画									1,000	1,000

※印は、選択教科の配点を示す。

○ 美術科（彫刻専攻）

試験区分 学部・学科			大学入学共通テスト							個別学力検査等			合計
			専攻名	国語	外国語	地理 歴史	公民	数学	理科	小計	実 技		
美術学部	美術科												
		彫刻	200	200	200 ※				600	素描 600	塑造 600	1,200	1,800

※印は、選択教科の配点を示す。

○ 美術科（芸術学専攻）

試験区分 学部・学科			大学入学共通テスト							個別学力検査等				合計
			国語	外国語	地理歴史				小計	英語	小論文	素描	小計	
美術学部	美術科	専攻名			世界史A	世界史B	日本史A	日本史B						
		芸術学	200	200	200 ※				600	300	300	100	700	1,300

※印は、選択教科の配点を示す。

○ デザイン・工芸科（デザイン専攻、陶磁専攻、メディア映像専攻）

試験区分 学部・学科			大学入学共通テスト							個別学力検査等				合計
			国語	外国語	地理 歴史	公民	数学	理科	小計	実 技			小計	
美術学部	デザイン・工芸科	専攻名												
		デザイン	200	200	200 ※				600	描写 400	色彩構成 300	立体構成 300	1,000	1,600
		陶 磁								描写 600	色彩表現 600		1,200	1,800
		メディア映像								描写 500	発想構成 500		1,000	1,600

※印は、選択教科の配点を示す。

イ 私費外国人留学生

○ 美術科（日本画専攻、油画専攻）

試験区分 学部・学科			第1次選考試験					第2次選考試験	
			日本留学試験			個別学力検査等第1次	合計	個別学力検査等第2次	計
美術学部	美術科	専攻名	日本語	総合科目	小計	実 技		実 技	
		日 本 画	400 ※	200 ※	600	1,000	1,600	1,000	1,000
		油 画						1,000	1,000

※印は、日本留学試験の内容を大学入学共通テスト受験生の成績と比較して総合的に判断する。

○ 美術科（彫刻専攻、芸術学専攻）

試験区分 学部・学科			日本留学試験			個別学力検査等				合計
美術学部	美術科	専攻名	日本語	総合科目	小計	実 技			小計	
		彫 刻	400 ※	200 ※	600	素描 600		塑造 600	1,200	1,800
		芸術学				英語 300	小論文 300	素描 100	700	1,300

※印は、日本留学試験の内容を大学入学共通テスト受験生の成績と比較して総合的に判断する。

○ デザイン・工芸科（デザイン専攻、陶磁専攻、メディア映像専攻）

試験区分 学部・学科			日本留学試験			個別学力検査等				合計
専攻名			日本語	総合科目	小計	実 技			小計	
美術学部	デザイン・工芸科	デザイン	400 ※	200 ※	600	描写 400	色彩構成 300	立体構成 300	1,000	1,600
		陶 磁				描写 600		色彩表現 600	1,200	1,800
		メディア映像				描写 500		発想構成 500	1,000	1,600

※印は、日本留学試験の内容を大学入学共通テスト受験生の成績と比較して総合的に判断する。

② 音楽学部

ア 大学入学共通テスト受験生

試験区分 学部・学科			大学入学共通テスト						個別学力検査等								合計			
			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小計		副科試験							小計		
専攻別 実技試験	副科 ピアノ	楽典								ソルフェージュ										
										新曲	聴音									
											旋律	四声	二声							
音楽学部	音楽科	専攻名 (コース)	100 ※						200	300	600	100	—	40	20	20	20	800	1,100	
											作曲	600	100	100	40	30	30		900	1,200
		音楽学									600	100	100	40	30	30		900	1,200	
		声乐									600	—	100	40	30	30		800	1,100	
		器楽									ピアノ	600	100	100	40	30	30		900	1,200
											弦楽器	600	100	100	40	30	30		900	1,200
											管打楽器	600	100	100	40	30	30		900	1,200

※印は、選択教科の配点を示す。

イ 私費外国人留学生

試験区分 学部・学科				日本留学試験				個別学力検査等										合計	
				日本語	総合科目	数 学	小 計	副科試験								小計			
専 攻 別 実技試験	副 科 ピアノ	楽 典	ソルフェージュ																
			新曲					聴音											
								旋律				四声		二声					
音 楽 学 部	音 楽 科	専攻名 (コース)		200	100 ※	300	600	100	—	40	20	20	20	800	1,100				
							600	100	100	40	30	30		900	1,200				
		声 楽					600	100	100	40	30	30		900	1,200				
		器 楽	ピアノ				600	—	100	40	30	30		800	1,100				
			弦 楽 器				600	100	100	40	30	30		900	1,200				
			管打楽器				600	100	100	40	30	30		900	1,200				

※印は、選択教科の配点を示す。

(注) 日本留学試験の内容を大学入学共通テスト受験生の成績と比較して総合的に判断する。

- ・第1次試験及び第2次試験の合否判定は、専攻別実技試験のそれぞれの成績によって行います。
- ・最終合否判定は、専攻別実技試験、副科試験及び大学入学共通テストの点数を合計した総合点により行います。ただし、器楽専攻（ピアノ、管打楽器）においては、専攻別第1次実技試験の成績は考慮しません。
- ・専攻（コース）内における声種並びに楽器の種類により人数上のバランスを考慮することがあります。

(3) 令和4年度入試 実施状況

学部	学科	専攻		試験区分	募集人員 A	志願者数 B	志願倍率	受験者数	当初合格者数	追加合格者数	実質倍率	入学者数	
美術学部	美術科	日本画		一般	10	111	11.1	101	12	0	8.4	12	
		油画		一般	25	215	8.6	198	27	0	7.3	27	
		彫刻	一般	10	35	3.5	32	10	3	2.5	8		
			総合型	若干名	9	—	9	2	—	4.5	2		
	芸術学		一般	5	18	3.6	11	7	0	1.6	7		
	デザイン・ 工芸科	デザイン		一般	17	226	13.3	185	21	0	8.8	19	
				社会人	若干名	1	—	1	0	—	—	0	
				総合型	8	35	4.4	35	7	—	5	7	
		陶磁		一般	10	34	3.4	23	9	5	1.6	8	
				総合型	若干名	5	—	5	2	—	2.5	2	
		メディア映像		一般	10	56	5.6	47	8	0	5.9	8	
				総合型	若干名	23	—	23	2	—	11.5	2	
		小計			一般	87	695	8.0	597	94	8	5.9	89
	社会人				若干名	1	—	1	0	—	—	0	
	総合型				8	72	9.0	72	13	—	5.5	13	
音楽学部	音楽科	作曲	作曲	一般	8	9	1.1	9	4	0	2.3	4	
			総合型	若干名	6	—	6	2	—	3.0	2		
		音楽学	一般	2	10	5.0	9	3	0	3.0	3		
			学校推薦	若干名	1	—	1	0	—	—	0		
		声乐		一般	30	55	1.8	49	28	0	1.8	27	
				学校推薦	若干名	15	—	15	4	—	3.8	4	
		器楽	ピアノ	一般	25	57	2.3	54	25	2	2.0	25	
			弦楽器	一般	15	27	1.8	24	14	0	1.7	14	
				学校推薦	若干名	10	—	10	2	—	5.0	2	
			管打楽器	一般	20	83	4.2	81	14	0	5.8	14	
				学校推薦	若干名	31	—	31	5	—	6.2	5	
			小計			一般	100	241	2.4	226	88	2	2.5
		総合型				若干名	6	—	6	2	—	3.0	2
		学校推薦				若干名	57	—	57	11	—	5.2	11
	合計				一般	187	936	5.0	823	182	10	4.3	176
社会人					若干名	1	—	1	0	—	—	0	
総合型					約8	78	9.8	78	15	—	5.2	15	
学校推薦					若干名	57	—	57	11	—	5.2	11	

(注1) 募集人員(若干名)は、一般選抜の募集人員に含まれます。

(注2) 志願倍率=志願者数÷募集人員(B÷A)

実質倍率=受験者数÷合格者数(当初合格者数+追加合格者数)

(注3) 受験者数は、各専攻・コースの初日の受験者数を示しています。

(4) 令和4年度入試 試験問題

① 美術学部

○ 日本画

試験区分	試験科目	モチーフ又は配布物	問 題 文
第1次試験	石膏素描	《モチーフ》 ・ ニオベ 《配布物》 ・ 画用紙(木炭紙大)	鉛筆デッサン
第2次試験	水彩画	《モチーフ》 ・ パイプ椅子に座る人物(女性) ・ コスチューム：ピスタチオ色カットソー・オフホワイト色ブルゾン・ジーンズ・スニーカー ・ 花束を手に持つ 《配布物》 ・ 画用紙(F20号パネル張り)	人物を着彩しなさい。背景も着彩すること。

○ 油画

試験区分	試験科目	モチーフ又は配布物	問 題 文
第1次試験	素描 鉛筆又は木炭、併用も可 試験用紙(画用紙、木炭紙)を配布時に選択	《モチーフ》 ・ 台に乗せた 1m×2m の銅板の上に、2体の聖ジョルジョ胸像を向かい合わせに設置。 《配布物》 ・ 木炭紙 ・ 画用紙(木炭紙大)	モチーフを描きなさい。
第2次試験	油画(キャンバス)又は水彩画(水張りパネル)	《モチーフ》 ・ パイプ椅子に着席した白いパーカーを着た人物 ・ モデルを支点とし左右の天井近くに張られたV字の黄色い水糸。 《配布物》 ・ キャンバス(F15号)又は紙張りパネル(F15号) ・ 画用紙(木炭紙大)	モデルがいるモチーフを描きなさい。

○ 彫刻

試験科目	モチーフ又は配布物	問 題 文
素描 (木炭又は鉛筆、併用も可)	《モチーフ》 ・ ブルータス 《配布物》 ・ 木炭紙又はM画用紙	台の上の石膏像を素描しなさい。
塑造	《モチーフ》 ・ パブリカ ・ ペットボトル 《配布物》 ・ 粘土(15kg) ・ 塑造板 ・ 心棒(金属) ・ 心棒用木材 ・ ベニヤ板(粘土硬さ調整用) ・ 針金(8番, 10番) ・ しゅろ縄(太, 細) ・ 塑造道具等	「成長」をテーマに、ペットボトルとパブリカをモチーフとし、自由に塑造しなさい。 *ペットボトルとパブリカを加工しても構いません。

○ 芸術学

試験科目	モチーフ又は配布物	問 題 文
英語		次の英文を全文和訳しなさい。 【出典】 Whitney Chadwick, <i>Women, Art, and Society (Fourth Edition)</i> , Thames & Hudson Ltd, 2007, p.356, ll. 21-37. 本学管理棟3階 入試課において閲覧できます。 (閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで) ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。
小論文		詳細は別表参照
素描	《モチーフ》 ・ 自画像 《配布物》 ・ 鏡 ・ 画用紙(四つ切り大)	鉛筆デッサン

(別表)小論文問題

図版A・Bについて、左記の作品情報を参考にしながら、類似点・相違点をよく比較観察し、それぞれ主題がどのように表現されているのかを八〇〇字程度で論述しなさい。

(A)橋口五葉「髪梳ける女」(江戸東京博物館所蔵)
木版画。大正九年(一九二〇)。縦四三・九×横三二・五cm。

(B)黒田清輝「湖畔」(東京国立博物館所蔵)
油彩画。明治三十年(一八九七)。縦六九・〇×横八四・七cm。

* カラーコピー配布。

【出題の意図】

明治～大正期の洋画と新版画で、青衣の女性を表した作例を比較する。素材・技法と、色彩や構図といった表現がどのように関わり合い、結果としてどのような効果が達成されているのかを自分なりに考察し、論述できているかをみる。問題文を適切に読み取りこれに対応する内容であるか、作品をよく観察し造形を言葉に置き換えることができているか、誤字脱字や語句の誤用がなく表現豊かであるか、文章が論理的に構成されているかを評価する。

○ デザイン

試験科目	モチーフ又は配布物	問 題 文
描写	《モチーフ》 ・ 鏡 1枚 《配布物》 ・ ボード(B3判) 1枚 ・ 課題用紙 1枚	モチーフを使って見える世界を捉え直し鉛筆で描写表現しなさい。
色彩構成	《配布物》 ・ ボード(B3判) 1枚 ・ 草案用紙 3枚 ・ 課題用紙 1枚	スマートフォンをイメージモチーフとして、「怒り」を色彩で表現しなさい。 制作条件 ・ 所持しているスマートフォンは絶対に取り出さないこと(失格になる事があります)。 ・ 作品はボード方向が縦位置となるよう制作すること。 ・ ボードに穴を開ける、折り曲げる、紙を剥がすなどの加工をしないこと。
立体構成	《配布物》 ◎素材 ・ カラーペーパー白(790×545mm) 2枚 ・ カラーペーパー黒(790×545mm) 2枚 ◎その他 ・ 台紙ダンボール(600×400mm) 1枚 ・ 接着剤 1個 ・ 仮止め用テープ 1個 ・ カッティングマット 1枚 ・ 草案用紙 3枚 ・ 課題用紙 1枚 ・ 説明カード 1枚	白と黒が生み出す効果に注目し、立体をデザインしなさい。 制作条件 ・ 説明カードに、作品のタイトルとデザイン意図を記入しなさい。 ・ 説明カードは、台紙ダンボールの表面手前側に、仮止め用テープで確実に貼付すること。 ・ 作品は台紙ダンボールの上に確実に固定すること。

○ 陶磁

試験科目	モチーフ又は配布物	問 題 文
描写	《モチーフ》 ・ 段ボール 1 箱 ・ 布 1 枚 ・ りんご 1 個 ・ 円錐角柱相貫体 1 個 ・ ビールジョッキ 1 個 ・ ストレチア(オレンジ) 2 本 ・ ストレチアの葉 1 本 《配布物》 ・ 画用紙(木炭紙パネル張り) 1 枚 ・ 出題用紙 1 枚	与えられたモチーフを描きなさい。
色彩表現	《モチーフ》 ・ ケント紙(A4 判) 2 枚 ・ 白いクリップ 2 個 《配布道具》 ・ はさみ 1 本 ・ カッターナイフ 1 本 ・ カッターマット 1 枚 ・ 30 cm 定規 1 本 ・ セロハンテープ(ケント紙の加工・接着用) 1 巻 《配布物》 ・ ボード(B3 判) 1 枚 ・ 考案用紙 3 枚 ・ 出題用紙 1 枚	① 「内と外」をテーマに、与えられたモチーフ(A4 ケント紙 2 枚)を加工し、立体物をつくりなさい。 ② ①の立体物と与えられたモチーフ(クリップ)を自由に組み合わせ、色彩構成しなさい。 ・ 色数は、自由。 ・ 横位置画面

○ メディア映像

試験科目	モチーフ又は配布物	問 題 文
描写	《モチーフ》 ・ 鏡(鏡面 120mm×165mm) 《配布物》 ・ ボード(B3 判) 1 枚	自身の体の一部を入れて「自画像」を描きなさい。
構成	《配布物》 ・ 解答用紙(B4 ボード 2 枚) 1 セット ・ 草案用紙 2 枚 ・ 課題用紙 1 枚	タイトル「大きな○○と小さな○○」 ○○に自由に言葉を設定し、条件で提示されたフォーマットに従って、ストーリーを表現しなさい。 制作条件 ・ ○○に当てはまる文字数及び表現方法は自由。 ・ 解答のどこかにタイトルを表記すること。 ・ 解答用紙の閉じられた片を左に置き、本のように開いて順に 4 つの画面を鑑賞する、という前提で作成すること。

② 音楽学部

別冊「令和 5 年度音楽学部一般選抜課題曲」を参照してください。

令和 6 年度入試変更点の予告

令和 6 年度入試からの変更点を予告します。今年度入試ではありませんのでご注意ください。

美術学部デザイン・工芸科デザイン専攻の一般選抜における 試験科目及び点数配分の変更について

変更内容

個別学力検査等の実技試験において、描写は必須、色彩構成又は立体構成いずれかを出願時に選択することになります。なお、出願後の変更は一切認めません。

(変更前)

学部・学科		試験区分	大学入学共通テスト								個別学力検査等				合計
美術学部	デザイン・工芸科	専攻名	国語	外国語	地理歴史	公民	数学	理科	小計	実 技			小計		
		デザイン	200	200	200 ※				600	描写 400	色彩 構成 300	立体 構成 300	1,000	1,600	

※印は、選択教科の配点を示す。



(変更後)

学部・学科		試験区分	大学入学共通テスト							個別学力検査等			合計	
美術学部	デザイン・工芸科	専攻名	国語	外国語	地理 歴史	公民	数学	理科	小計	実 技				小計
										描写	色彩 構成	立体 構成		
		デザイン	200	200	200 ※1				600	500	500 ※2		1,000	1,600

※1 印は、選択教科の配点を示す。

※2 印は、色彩構成と立体構成の選択を示す。

令和 3 年 12 月 20 日に本学ウェブサイトにて、公表した内容と同じです。

入学願書等記入上の注意

- 1 願書はコンピュータ処理をしますので、折り曲げたり汚したりしないでください。
- 2 必ず黒のボールペンを使用してください。
- 3 楷書で丁寧に枠内へ記入してください。（絶対に枠外へはみ出さないでください。）
- 4 氏名欄の小さい枠は文字1枠、濁点及び半濁点1枠で記入してください。氏名欄の大きい枠及びその他の枠は、文字と濁点及び半濁点をあわせて1枠で記入してください。

タィイカィク
10-1
ダイガク

- 5 記入ミスをしたときは、誤記した文字に二重線を引き、その上の空欄に正しい文字等を記入してください。

2 3
0132

- 6 記入例

0123456789

~~×~~ 179 → ○ 179
~~×~~ 179 → ○ 179
~~×~~ 179 → ○ 179

次の点には、注意してください。

- ・ 文字に飾りをつけない
- ・ 適度な大きさで
- ・ 濃すぎず薄すぎず

文字記入例

英字 **A B C D E F G H I J K L M**
 N ò P Q R S T U V W X Y Z

数字 **0 1 2 3 4 5 6 7 8 9**

カナ **アイウエオカキクケコサシス**
 セソタチツテトナニヌネノハ
 ヒフヘホマミムメモヤユヨラ
 リルレロワヅン・ッ

各項目の記入方法等

◆入学願書

- 1 左上の□□□□□□□は、何も記入しないでください。
- 2 試験区分欄
□の中に **G** を記入してください。
- 3 試験場コード欄
大学入学共通テスト受験番号欄
発行回数欄
以上については、何も記入しないでください。
- 4 大学入学共通テスト成績請求票貼付欄
必ず、自分の受験する日程（後期日程）と同じ請求票を貼付してください。異なる大学入学共通テスト成績票を貼付すると、願書の受付ができませんので十分注意してください。また、はがれないようにしっかり貼付してください。
- 5 美術学部・音楽学部欄
志望する学部欄の□へ、専攻の前の数字を記入してください。
音楽学部作曲専攻（音楽学）を希望する者は、□□へ受験する語学の前の**数字**を記入してください。器楽専攻（弦楽器・管打楽器）を希望する者は、□□へ楽器種別の前の**数字**を記入してください。
- 6 高等学校等コード欄
 - (1) 在学中又は出身の高等学校等のコード番号と学校名を記入してください。コード番号は、大学入学共通テストの受験案内を参照してください。（高等学校名は、国立○○高等学校、○○県立○○高等学校又は私立○○高等学校等と記入してください。）
 - (2) 高等学校卒業者及び令和5年3月卒業見込みの者は、課程の□に1、2、3のいずれかを記入してください。
 - (3) 高等学校卒業程度認定試験合格者等は、大学入学共通テスト受験案内の該当コードを記入してください。
- 7 卒業（見込）年月欄
 - (1) 高等学校卒業者及び令和5年3月までに高等学校卒業見込みの者は記入してください。
高校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みのものは、取得（見込）年月日を記載してください。
 - (2) 一番左の□に1～3のいずれかを記入してください。
 - (3) 年は2桁の数字で記入してください。年度ではなく暦年で記入してください。また、西暦ではなく和暦で記入してください。
例：令和5年3月卒業の場合

1：昭和
2：平成

3：令和

卒業(見込)年月

3

05

年

03

月

- 8 氏名欄
 - (1) 上段の小さい枠の□にはカタカナで、下段の大きい枠の□には漢字で記入し、性別横の□に男性は1、女性は2を記入してください。
 - (2) 上段の小さい枠は、文字1枠、濁点及び半濁点1枠で記入し、下段の大きい枠は、文字と濁点及び半濁点をあわせて1枠で記入してください。
 - (3) 姓と名の間は1枠あけて記入してください。

注1：日本国内に居住し、氏名を漢字で表記する外国人で、通称名を用いている場合はその通称名を記入してください。以下、氏名記入欄は、同様の方法で記入してください。

注2：氏名を漢字以外で表記している外国人は、ファミリーネーム（姓）を先に、ファーストネーム（名）を後にし、カタカナで記入してください。

9 生年月日欄

(1) 一番左の□に年号を示す数字の1又は2を記入してください。

(2) 年月日は、それぞれ2桁の数字で記入してください。

(1桁の場合は、0を記入してください。)

(3) 年は、西暦で記入せず、和暦で記入してください。

記入にあたっては、次の例を参考にしてください。

例：平成17年1月8日生まれの場合

1: 昭和 2: 平成	生 年 月 日
2 1 7	年 0 1 月 0 8 日

10 住所欄

(1) 郵便番号、電話番号及び住所を□内に1字ずつ記入してください。

なお、郵便番号及び電話番号は、ハイフンを使用せず数字のみ記入し、住所の丁目、番地、号はハイフンを使用してください。また、電話番号は左詰めで記入してください。

また、050で始まるIP電話番号は記入しないでください。

(2) 緊急時の連絡先は、ご本人又はご家族の携帯電話番号など、左の連絡先電話番号と異なる番号を必ずご記入ください。

(3) 住所は、出願時から4月中旬まで確実に連絡を受けられる住所を都道府県から記入してください。また、団地・マンション等に居住している者は、棟番号・戸番まで必ず記入し、下宿の場合は、〇〇方と記入してください。

なお、住所の変更があった場合は速やかに郵便で愛知県立芸術大学入試課へ送付してください。

◆受験票及び受験者写真票

1 氏名、ふりがな、志望学部、専攻を記入してください。

音楽学部作曲専攻志望者は、区分欄に作曲、音楽学のどちらかを記入してください。
音楽学部声楽専攻志望者は、区分欄に声種別（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト等）を記入してください。
音楽学部器楽専攻志望者は、区分欄に楽器種別を記入してください。
また、フルート志望者は、楽器種別のあとに、第1次試験課題曲b）及び第2次試験課題曲で選択した曲の番号を記入してください。（記入例：フルート①A）

2 美術学部志望者は、区分欄の記入は不要です。

3 出願前3ヶ月以内に撮影した同一の写真（正面・上半身・脱帽・縦4cm×横3cm、裏面に氏名、志望専攻名を記入。）を所定の位置に貼ってください。

◆入学検定料納付証明書貼付票

氏名、ふりがなを記入し、入学検定料納付証明書を貼付欄内にのり付けしてください。

入学願書記入例

(記入例は器楽専攻弦楽器コース)

・試験区分で選択した日程
請求票を貼付する。

・記入しない。

・大学入学共通テスト成績請求票の内容を転記する。

大学入学共通テスト成績請求票
貼付欄

・該当する数字を記入する。

※ 1234567890		令和5年度 愛知県立芸術大学入学願書	
試験区分	G 一般選抜	試験場コード	12166K
	W 社会人特別選抜 美術 Z 総合型選抜 美術 Y 学校推薦型選抜 音楽 総合型選抜	大学入学共通テスト受験番号	12340
美術学部	1 日本画 2 油画 3 彫刻 4 芸術学 5 デザイン・工芸科 7 メディア映像	発行回数	1
	音楽学部	1 作曲 (作曲) 2 作曲 (音楽学) 3 音楽 (女声) 4 音楽 (男声) 5 器楽 (ピアノ) 6 器楽 (弦楽器) 7 器楽 (管打楽器)	6
高等学校等コード	12345A	1: 昭和 3: 令和 卒業(見込)年月 2: 平成	3 05 年 03 月
氏名	アイチ ハナコ	性別	2 1: 男 2: 女
住所	〒4801194 愛知県長久手市 岩作三ヶ峯1-1-4 コーポ三ヶ峯101	緊急時の連絡先	TEL(090)1234-5678

⑤ 令和5年度
愛知県立芸術大学
受験票

※ 受験番号	
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子
志望学部	音楽 学部
専攻	器楽 専攻
区分	(ヴァイオリン)

試験日には、必ず受験票を持参すること。
※一般選抜の受験者は、本受験票に加え、
大学入学共通テスト受験票も持参すること。

【問い合わせ先】
愛知県立芸術大学 入試課
480-1194
愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114
0561-76-2603

(注) ※印欄は、記入しないこと。

⑤ 入学検定料納付証明書貼付欄

※ 受験番号	
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子

- 検定料納付証明書を、この欄に貼り付けること。
- 入学検定料は必ず金融機関の窓口から送金すること。
ATMからは送金しないでください。

美術学部の場合は、下記の例のとおり記載する。

(例：デザイン専攻)
【志望学部】美術学部
【専攻】デザイン専攻
【区分】(何も記載しない)

(注) ※印欄は、記入しないこと。

⑤ 令和5年度
愛知県立芸術大学
受験者写真票

※ 受験番号	
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子
志望学部	音楽 学部
専攻	器楽 専攻
区分	(ヴァイオリン)

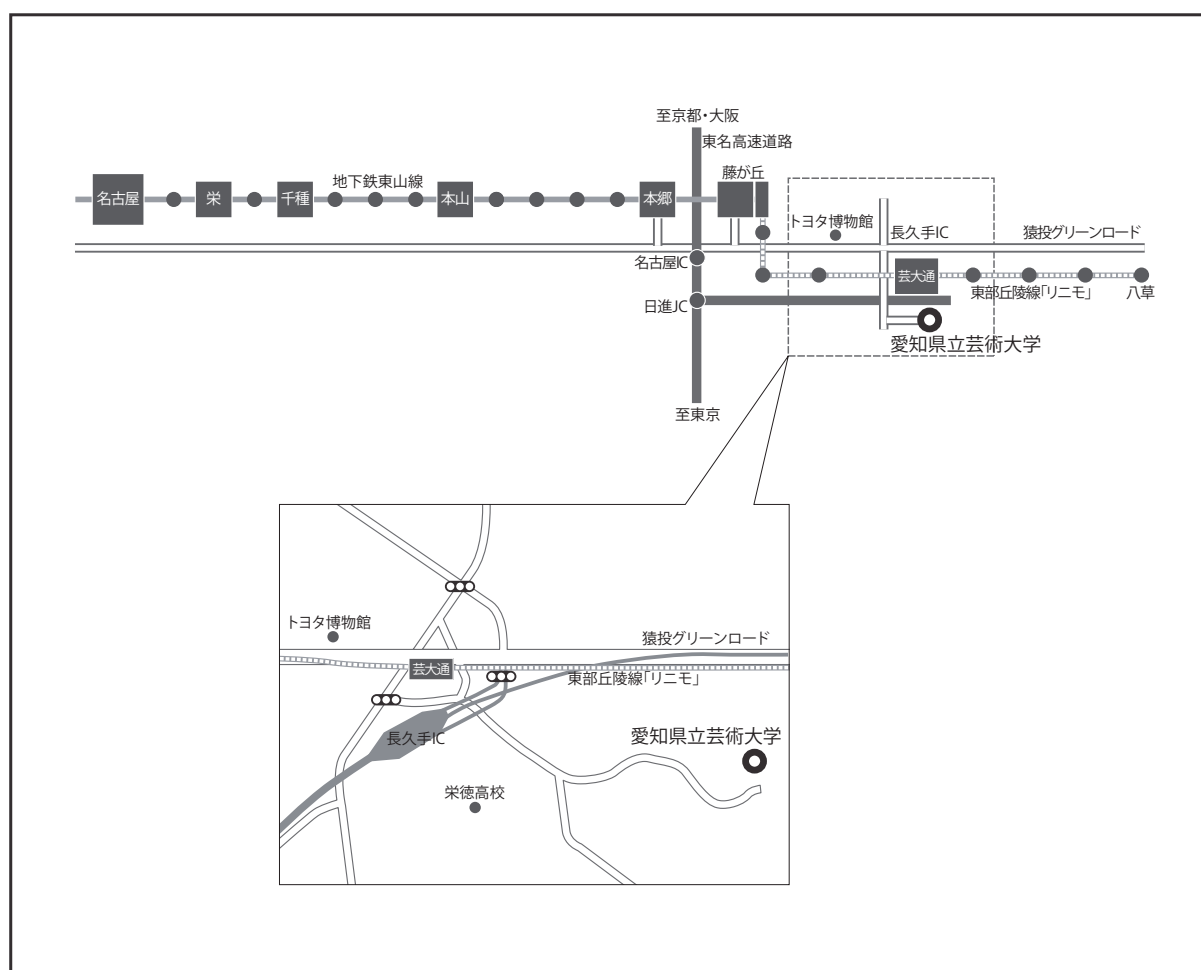
写真貼付欄
(4cm×3cm)
正面、上半身、脱帽
出願前3ヶ月以内に
撮影したものをこの
枠内に正しく貼ること。

(注) ※印欄は、記入しないこと。

・Gを記入する。
・該当する数字を記入する。
・都道府県から記入する。その際、文字と半濁点をあわせて一枠で記入する。
・郵便番号及び電話番号はハイフンを使用せず数字のみ記入する。

・記入しない。

所在地案内図



■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約20分。

■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）



愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

TEL 0561-76-2603(入試課直通)

入試情報提供専用サイトURL <https://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

